

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 9 日 (2012.8.9)

【公表番号】特表 2012-500617 (P2012-500617A)

【公表日】平成 24 年 1 月 5 日 (2012.1.5)

【年通号数】公開・登録公報 2012-001

【出願番号】特願 2011-523456 (P2011-523456)

【国際特許分類】

H 0 2 K 21/22 (2006.01)

F 1 6 F 15/315 (2006.01)

F 1 6 F 15/30 (2006.01)

H 0 2 K 7/02 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 21/22 M

F 1 6 F 15/315 A

F 1 6 F 15/30 E

H 0 2 K 7/02

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 6 月 25 日 (2012.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

図 1 に示されるはずみ車アセンブリは、磁性体装荷型の複合材料から形成された回転子 1 を備える。回転子は、内側部分 1 b および外側部分 1 a を有する。内側部分はガラス繊維と磁性粒子を備え、外側部分はカーボンフィラメントを備える。2 つの部分は一体に結合される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

回転子の内側部分 1 b は、モータの永久磁石構成要素を形成する。モータは、固定子取付部 7 によってハウジングに取り付けられた固定子 6 も含む。固定子は、はずみ車を駆動および制動するために電力を提供する。回転子は真空チャンバ 8 内で動作し、固定子は、固定子缶 10 によって画定されるチャンバ 9 を通って循環する油によって油冷される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハウジングと、前記ハウジング内に回転可能に取り付けられ、内周面および外周面を画定するはずみ車と、前記はずみ車の内周面から半径方向内側に離隔された内側本体とを備

えるはずみ車アセンブリであって、前記はずみ車が、使用中、内側本体の周りで内側本体に関して回転し、前記アセンブリが、前記はずみ車の外周面から半径方向外側に離隔された係合面を画定し、前記内側本体が、前記ハウジングに柔軟性をもって結合され、それにより、はずみ車のずれを引き起こす速度での回転中にはずみ車取付構造が故障した場合に、ずれたはずみ車によって前記内側本体に及ぼされる力による結合部材の撓みにより、はずみ車を係合面と接触させるはずみ車アセンブリ。

【請求項 2】

前記はずみ車がモータの回転子を提供し、前記内側本体がモータの固定子を提供する請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 3】

前記柔軟性結合部材が、前記内側本体から半径方向内側に延在する請求項 1 または 2 に記載のアセンブリ。

【請求項 4】

前記柔軟性結合部材が、柔軟性ポリマー材料を含む請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のアセンブリ。

【請求項 5】

前記柔軟性結合部材が、1 つまたは複数のばねの構成を備える請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のアセンブリ。

【請求項 6】

前記内側本体と前記ハウジングの間の前記柔軟性結合部材が、1 つまたは複数の湾曲板ばねの構成を備える請求項 5 に記載のアセンブリ。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3】

